

# 社会資本総合整備計画の 事後評価について

技術企画課



# 社会資本整備総合交付金事業について

## 概要

- ◆国土交通省所管の個別補助金を一つの交付金に原則一括化し、自由度が高く、創意工夫を生かせる総合的な交付金として、平成22年度に創設
- ◆地方公共団体が地域の課題を自ら抽出して作成する「社会資本総合整備計画」に基づき、計画の目標実現のための、基幹的な社会資本整備事業のほか、関連する社会資本整備やソフト事業等を総合的・一体的に支援（ハード・ソフトの両面からトータル支援）
- ◆社会資本総合整備計画に位置付けられた事業の範囲内で国費を自由に充当可能

## 社会資本総合整備計画書

目標実現のため  
複数の事業を  
パッケージ化して採択

### 基幹事業

○基幹となるハード整備  
（道路、治水、港湾、下水道、都市公園、住環境整備 等々）

### 関連事業

○基幹事業と一体的に行う他種のハード整備  
（関連する各種の社会資本整備事業）

### 効果促進事業

○計画の目標実現のため基幹事業等と一体となって、  
基幹事業の効果を一層高める事業（ソフト事業を含む）

- ★計画の名称
- ★計画（パッケージ）の目標
- ★計画の期間（概ね3～5年で設定）
- ★目標達成のため必要な交付対象事業
- ★全体事業費
- ★事業効果の把握及び評価に関する事項  
（定量的な成果指標：現況値 ⇒ 中間目標値 ⇒ 最終目標値）

## 事後評価（計画期間終了時）

- ①要素事業の進捗
- ②事業効果の発現状況
- ③最終目標値の達成状況
- ④今後の方針

香川県  
公共事業  
評価委員会

事後評価の結果を次期計画に反映  
同種事業の計画策定・事業運営に反映

# 事後評価書（見本）

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）										事後評価書																	
計画の名称		1 総合的な土砂災害対策の推進（防災・安全）																									
計画の期間		平成22年度～平成26年度（5年間）			交付対象		香川県、東かがわ市、多度津町、土庄町、坂出市、普通寺市、小豆島町、宇多津町、さぬき市、高松市、丸亀市、三豊市、観音寺町、まんのう町																				
計画の目標		<ul style="list-style-type: none"> <li>人命と財産を守るための砂防施設等の整備（安全・安心の向上）</li> <li>土砂災害警戒区域等の指定促進</li> </ul>								<b>見本</b>																	
<b>⑨事業効果の発現状況</b>																											
<p>1. 事業効果の発現状況：十分な効果があった（一定の効果があった・効果がなかった）</p> <p>土砂災害から保全される人家が1,010戸、災害時要援護者施設が4箇所増加するといった効果や、地元説明会を行うことによって、県民の方々に土砂災害に対する認識を深めていただけたといった定性的な効果も確認した。効果促進事業においても、各市町の土砂災害ハザードマップが完成・各家庭に配布され、自治会の集会などで自宅付近の危険箇所や避難場所等を確認したり、近隣に完成した砂防施設の効果を認識していただくなど、一体的に実施した成果を確認した。</p>																											
計画の成果目標（定量的指標）																											
<ul style="list-style-type: none"> <li>土砂災害を受ける恐れのある人家 1,161戸を保全する。</li> <li>土砂災害を受ける恐れのある災害時要援護者施設 6箇所を保全する。</li> </ul>																											
<b>⑫～⑬最終目標値の達成状況</b>																											
定量的指標の定義及び算定式										定量的指標の現況値及び目標値		達成率		備考													
										当初現況値 (H22当初)		中間目標値 (H24末)		最終目標値 (H26末)													
砂防施設の整備に伴い土砂災害から保全される人家数										目標値： 13,790 戸		14,568 戸		14,951 戸		87.0%											
										達成値： 14,800 戸				14,800 戸													
砂防施設の整備に伴い土砂災害から保全される災害時要援護者施設数										目標値： 55 箇所		57 箇所		61 箇所		66.7%											
										達成値： 59 箇所				59 箇所													
全体事業費		合計 (A+B+C)		538百万円		A		517百万円		B		百万円		C		21百万円		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		3.90%		進捗率 (事業費ベース)		55.0%			
実施事業費		合計 (A+B+C)		296百万円		A		275百万円		B		百万円		C		21百万円		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		7.09%							
交付対象事業												<b>⑩各要素事業の進捗状況</b>															
A1 砂防事業																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)			事業内容・規模等	市町名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率	備考								
											H22	H23	H24	H25	H26												
1-A1-1	砂防	一般	香川県	直接	-	上日開谷川通常砂防事業			砂防堰堤工1基	東かがわ市	×	×	×			82	20	24.4%	予算が確保できなかった								
1-A1-2	砂防	一般	香川県	直接	-	大楢川通常砂防事業			砂防堰堤工2基	東かがわ市	×	×	×			200	20	10.0%	用地難航箇所								
1-A1-3	砂防	一般	香川県	直接	-	森兼川通常砂防事業			砂防堰堤工1基	東かがわ市	×	×	×			112	112	100.0%									
小計(砂防事業)																394	152	38.6%									
A2 地すべり対策事業																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名(事業箇所)			事業内容・規模等	市町名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率	備考								
											H22	H23	H24	H25	H26												
1-A2-1	地すべり	一般	香川県	直接	-	横畑地区地すべり対策事業			横ボーリング工、アンカー工	仲多度郡まんのう町						81	81	100.0%									
1-A2-2	地すべり	一般	香川県	直接	-	桧地区地すべり対策事業			横ボーリング工	高松市						42	42	100.0%									
小計(地すべり対策事業)																123	123	100.0%									
合計																517	275	53.2%									
B 関連社会資本整備事業																											
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名			事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	実施事業費 (百万円)	進捗率	備考							
												H22	H23	H24	H25	H26											
合計																											
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考											

# 事後評価書（見本）

2-2

見本

C 効果促進事業										事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	実施事業費 （百万円）	進捗率	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別等	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H22	H23	H24	H25	H26				
1-C1-1	計画・調査	一般	東かがわ市	直接	-	ハザードマップ	ハザードマップ作成	東かがわ市における土砂災害ハザードマップの作成	東かがわ市						3	3	100.0%	見本
1-C1-2	計画・調査	一般	多度津町	直接	-	ハザードマップ	ハザードマップ作成	多度津町における土砂災害ハザードマップの作成	多度津町						14	14	100.0%	
1-C1-3	計画・調査	一般	土庄町	直接	-	ハザードマップ	ハザードマップ作成	土庄町における土砂災害ハザードマップの作成	土庄町						4	4	100.0%	
合計															21	21	100.0%	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	
1-C1-1	ハザードマップの公表により、災害時における住民の適切な対応を促し、土砂災害の軽減を図る。																	
1-C1-2	ハザードマップの公表により、災害時における住民の適切な対応を促し、土砂災害の軽減を図る。																	
1-C1-3	ハザードマップの公表により、災害時における住民の適切な対応を促し、土砂災害の軽減を図る。																	
その他関連する事業										事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	実施事業費 （百万円）	進捗率	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容・規模等	市町名	H22	H23	H24	H25	H26					
A'	砂防	一般	香川県	直接	-	西谷上川通常砂防事業	砂防堰堤工1基	高松市							45	45	100.0%	予算が確保できなかった
	砂防	離島	香川県	直接	-	平野川西川通常砂防事業	砂防堰堤工1基	小豆郡小豆島町							25	0	0.0%	
	総流防	一般	香川県	直接	-	香川西部圏域総合流域防災事業	法面工1式	仲多度郡多度津町							38	38	100.0%	
合計															108	83	76.9%	
A'	108百万円	B'		C'		$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$					3.25%							
A'	83百万円	B'		C'		$(C+C') / ((A+A') + (B+B') + (C+C'))$					5.54%							
<b>要素事業の事業進捗</b> 計画通り進捗（概ね計画通り進捗・進捗が不十分） ・一部、予算確保が十分でなかったため進捗が遅れているところもあるが、ほぼ計画通り進捗している。 ・用地難航箇所においては、地権者に対する説明回数を増やし、ようやく納得していただいた。																		
<b>⑩進捗状況(まとめ)</b>																		
<b>2. 今後の方針</b> 継続（計画見直し・完了） ・整備計画としての適切性の評価による次計画での見直し事項 ・遅延対策 ・次計画における改善策（目標値が達成できなかった場合）																		
<b>⑭今後の方針</b>																		

# 事後評価対象事業一覧表 (例:平成26年度)

■平成26年度 事後評価対象事業一覧																					
項目	所属	No.	① 事業名 (計画の名称)	② 事業 主体	③ 全体 事業費 (百万円)	④ 着手 年度	⑤ 完了 年度	⑥ 継続 計画	⑦ 計画の目標	⑧ 事業概要	⑨ 事業効果の発現状況	⑩ 要素事業の進捗状況		⑪ 定量的指標		⑫ 定量的指標の現状値及び目標値		⑬ 実現状況		⑭ 今後の方針	備考
												概要	進捗率	単位	当初 現状値	最終 目標値	達成値	達成率			
1	河川 砂防課	1	□社会資本総合整備計画 総合的な治水対策の推進 (防災・安全)	県	12,965	H22	H26	有	・集中豪雨の多発や住宅化の進展に伴う被害リスクの増大に対し、流域が一体となって総合的な治水対策を実施することにより、水害に強い県を作るとともに、安全安心な県民生活の確保を図る。 ・河川事業(改修等):12河川 ・大規模な水門等河川管理施設の長寿命化計画の策定14施設 ・水門等河川管理施設の延命化:4施設 ・河川監視カメラ設置:8河川 ・堤防改良:45km ・小規模な水門等河川管理施設の長寿命化計画の策定6施設 ・関連道路整備:橋梁2橋 ・効果促進事業:3事業	【一定の効果があった】 【概ね計画通り進捗】 ・進捗率(事業費ベース) 93.3% ・進捗理由、原因 計画通りの予算確保ができなかったため。 ・対応状況 限られた予算の中でも、目標の達成に向けて、効果的な予算配分に努めている。	事業実施河川ごとに既往最大浸水被害家数が発生した出水と同程度の流出により、浸水の恐れがある家数減少の減少 ・進捗率(事業費ベース) 93.3% ・進捗理由、原因 計画通りの予算確保ができなかったため。 ・対応状況 限られた予算の中でも、目標の達成に向けて、効果的な予算配分に努めている。	戸	2,103	1,406	1,464	92%	【継続】 ・目標達成のための改善策 計画通りの予算確保に努めるとともに、配分の重点化等により、効果発現に努める。				
																			施設	7 (1)	100 (15)
2	河川 砂防課	2	□香川県土砂災害対策計画 (全国防災)	県	9,290	H22	H27	無	・人命と財産を守るための砂防施設等の整備(安全・安心の向上) ・土砂災害警戒区域等の指定促進	【十分な効果があった】 ・高潮対策については、平成16年台風19号の高潮被害に対して、防脚できる高さの堤岸を整備できている。 ・地震・津波対策については、比較的发生頻度の高い地震及びその津波で発生する津波に対して、堤防の液状化対策を実施できている。	【計画通り進捗】 ・進捗率(事業費ベース) 94.8%(H26事業完了) ・計画に位置付けた事業はすべて完了	県管理の水門・樋門等における津波・高潮対策としての自動化実施施設数 既往最高水位を観測した平成16年台風18号の高潮に対して安全を確保できる防護施設の整備量 津波被害リスクが高い箇所における河川堤防の耐震・液状化対策の整備量	基	0	1	1	100%	【完了】	河川堤防の耐震整備事業については、河川事業だけでなく土木部内横断的に目標設定し、平成26年度計画決定した「香川県における総合的防災・減災対策の推進(防災・安全)」で進める。		
																					m
3	港 湾課	3	□社会資本総合整備計画 総合的な土砂災害対策の推進(防災・安全)	県	9,290	H22	H26	有	・人命と財産を守るための砂防施設等の整備(安全・安心の向上) ・土砂災害警戒区域等の指定促進	【一定の効果があった】 ・27箇所の土石流危険渓流で砂防堰堤の整備を行った。 4箇所の急傾斜地崩壊危険箇所まで整備を行った。 この結果、土砂災害から保全される人家が923戸、災害時要援護者施設が4箇所増加した。	【概ね計画通り進捗】 ・進捗率(事業費ベース) 91.7% ・進捗理由、原因 O計画通りの予算確保ができなかったため。 O一部の地権者が事業に反対するなど用地交渉が難航したため、期間を要したが、継続的な事業説明を行うことで、協力を得ながら進めている。	砂防施設の整備に伴い土砂災害から保全される人家数 砂防施設の整備に伴い土砂災害から保全される災害時要援護者施設数	戸	13,790	14,951	14,713	79.5%	【継続】 ・県内に土砂災害の危険箇所は、6972箇所あり、全ての箇所を整備するには膨大な費用と期間を要するが、今後も費用対効果や保全対象の大きさ、危険性の高い箇所等を総合的に判断し、地元との協力も得ながら計画的に整備を進めていく。			
																				箇所	55
4	港 湾課	4	□社会資本総合整備計画 安心安全で活力のある香川の港づくり	県	1,885	H22	H26	有	・震災時の緊急物資の集積、住民の避難等のため広場、緑地等について整備を行うことにより、活力ある港づくりを行う。 ・シボル緑地(高松港・玉藻) :護岸改修、上物整備 ・シボル緑地(高松港・朝日) :外周護岸造成、埋立 ・休息緑地(高松港・朝日) :埋立、上物整備 ・休息緑地(高松港・香西) :上物整備【事業完了】 ・岸壁(-5.5m)(高松港・孫打) :測量、設計	【一定の効果があった】 ・休息緑地(高松港・香西地区)が完成したことにより、港湾環境整備面積が17ha増加した。これにより、周辺住民等の快適な緑地利用が可能となった。また、震災時の緊急物資の集積等が行える箇所が増加した。	【進捗が不十分】 ・進捗率(事業費ベース) 42.3% ・移転交渉が難航したこと、予算確保が十分でなかったことにより、進捗が遅れている。	港湾環境整備において、安全・安心で快適な港湾空間の増加率を算出 =(港湾環境整備施設面積)÷(H22当初の港湾環境整備施設面積)	ha(+%)	19.4 (0)	21.8 (12)	21.1 (8)	70.8%	【継続】 ・引き続き移転条件を整理し、積極的に移転交渉を進める。 ・予算確保に努め、事業の進捗を図る。			
																				千人	22.6
4	港 湾課	5	□社会資本総合整備計画 安心安全で活力のある香川の港づくり	県	3,161	H22	H26	有	・地域物流と海上交通の拠点となる港湾施設の改良を行うことにより、安心安全で活力のある香川の港づくりを行う。 ・岸壁、浮桟橋、物揚場等の改良、補修:9港 ・効果促進事業:1事業	【一定の効果があった】 ・坂手港において車両乗降設備を新設したことにより、定期便が就航し、船舶乗降人員が増加した。 ・老朽化した既存港湾設備を改良することにより、港湾施設が安心・安全で効率的に利用できるようになった。	【概ね計画通り進捗】 ・進捗率(事業費ベース) 61.8% ・一部、予算確保が十分でなかったため進捗が遅れている事業もあるが、全体的にはほぼ計画通り進捗している。	車両乗降設備を整備(新設)する坂手港の船舶乗降人員数を調査 安全・安心で効率的に利用できる施設の増加施設数	施設	0	15	13	87%	【継続】 一部予算確保が十分でなかったが、次計画においては、計画目標通りの予算確保に努め、事業の進捗を図る。			
																				施設	0
4	港 湾課	6	□社会資本総合整備計画 高松市の離島港湾における高潮対策の推進	高松市	194	H22	H26	無	・離島の港湾区域を対象に高潮対策を実施することにより、居住する島民の安全・安心な市民生活を確保する。	【十分な効果があった】 既往最高水位TP2.46mに対する、床上・床下浸水被害の解消 11.4ha → 0ha	【概ね計画通り進捗】 ・進捗率(事業費ベース) 100.0%	既往最高水位TP2.46mに対する、床上・床下浸水被害を解消: 11.4ha(H22)→0ha(H26)	ha	11.4	0	0	100.0%	【完了】			
																				施設	0
4	港 湾課	7	□社会資本総合整備計画 室本港における安全で利便性の高い港湾環境の整備	観音寺市	290	H22	H24	無	・室本港において、防波堤等の港湾施設の改良、港内の船舶航行安全確保のための放置艇対策を一体的に実施し、安全で利便性の高い港湾環境を形成する。 ・防波堤の整備L=225m ・効果促進事業:1事業	【十分な効果があった】 ・港内の静穏度が保たれ、放置艇が防波堤裏の停泊箇所に移動したことにより船舶航行の安全が確保された。	【計画通り進捗】 H24年度完了	収容施設区域内における静穏度を確保する。 (静穏度達成率)=(現状の静穏度-達成された静穏度)/(現状の静穏度-目標とする静穏度)(%) ※波高(異常時) 2.56m→0.5m ・港湾区域内における放置艇収容数を調査する。 (放置艇収容率の割合)=(放置艇収容数/現状の放置艇隻数)(%)	%	0	100	100	100%	【完了】			
																				施設	0

各事後評価書の内容を一覧表  
にまとめたもの